

(仮称) 藤沢市文化芸術振興計画2028 (素案) パブリックコメントのまとめ

いただいた意見については基本目標ごとに分類し、本計画の考え方などに触れる内容については、「計画全般」として分類しました。

番号	意見要旨	計画項目	市としての考え方	内訳
1	藤沢市で所有している貴重な浮世絵や絵画を最低でも年1回は全て鑑賞できるようにしてください。倉庫にしまっているだけでは意味がないと思います。	基本目標1	所蔵作品を活用した様々な企画展を開催するなど、今後も鑑賞の機会を設けてまいりたいと考えております。	②
2	「藤沢市の文化芸術の特色」として具体的に挙げられている事項が、「基本目標」の中に具体的に触れられていないのは何故でしょうか。アートスペースやオペラ等の藤沢市の特色として今後も鋭意的に取り組む事項は「基本目標」に言葉として入れるべきではないでしょうか。	計画全般	一つの事業が複数の基本目標に該当することも考えられるため、基本目標や施策につながる取組の中で具体的に整理しております。	③
3	若者が集まるような藤沢市独自のイベントを定期的で開催するのはいかがでしょうか？ヨガフェス、ダンスコンクールなど。	基本目標1	文化芸術活動に参加する方のすそ野を広げるための活動として、今後の取組の参考とさせていただきます。	②

4	年齢が上がると都心の劇場に足を運ぶのが大変になるので、市民会館で質の良い舞台芸術を鑑賞できたら有り難いです。	基本目標 1	身近な場所で様々な文化芸術にふれられることは、文化芸術の振興に必要であると考えております。今後の取組の参考とさせていただきます。	②
5	市の文化芸術施設の拠点とも言える市民会館の休館から新しく開館するまでの期間における市文化芸術振興のあり方について、もう少し具体的に踏み込んだ表現があることが望ましい。その方が計画自体も市民にとって関心が高いものになると思います。	基本目標 4	再整備事業期間中の文化芸術振興は、再整備の進捗に合わせて検討を進めていく必要があると考えております。今後の取組の参考とさせていただきます。	②
6	「サブカルチャー」にも焦点を当て、文化芸術の主演として若い世代もとりこんでいくことが計画として掲げられていることは、とても良いと思います。古くから継承されている文化芸術も大切ですが、新しい文化芸術や若者の感性・感覚にも目を向けていく必要がある。文化芸術に携わる市民の意識も変わるような計画を期待します。	基本目標 3	文化芸術の次世代への継承については第2章2(3)で課題としてとらえております。今後の取組の参考とさせていただきます。	②
7	藤沢市は南北に長い地形であるので、複数の地域を拠点にした文化芸術の振興が図られることを希望します。	基本目標 2	今後も身近な場所での文化芸術振興に取り組んでまいります。	③

8	市民会館周辺は、藤沢市の中心として、乳幼児からお年寄りまでがそこで文化的なものに触れ、集い、交流し心豊かになるような広場や建物にしてほしいです。ただ図書館や市民会館とは設立の趣旨が違うので、複合化施設に市民活動推進センターが入っているのは反対です。	基本目標 4	生活・文化拠点再整備事業に関するご意見として、今後の参考とさせていただきます。	④
9	衣食住が足りてるだけでは人が人間らしく生きていくには足りない。文化芸術は人として成長していく上では必要不可欠。	計画全般	本計画を策定するうえで、基本的な内容として含まれているものと考えております。	③
10	未来の担い手である子どもたちを育む視点に立って、市民会館建て替えを考えてほしい。	基本目標 4	生活・文化拠点再整備事業に関するご意見として、今後の参考とさせていただきます。	④
11	市民にとって文化芸術が、生きる上で必要なものです。その視点が、もっと盛り込まれるといいですね。	計画全般	本計画を策定するうえで、基本的な内容として含まれているものと考えております。	③
12	市民とともに市民が自分ごとになるような方法を作っていく限り、ただの施設になってしまいます。	基本目標 4	生活・文化拠点再整備事業に関するご意見として、今後の参考とさせていただきます。	④

13	市民が今回の振興計画に基本構想作りの段階で関わっている感じはしないのは残念ですが、これから市民にも開かれた計画作りになる事を希望します。	計画全般	次回以降の改定にあたってのご意見として、今後の参考とさせていただきます。	②
14	文化芸術は子どもの成長に欠かせないものという視点を大切に全ての事業を考えて欲しいです。	計画全般	文化芸術は子どもを含む広い世代に必要であると考えております。	③
15	子どもたちへの視点が足りないように思います。子どもたちを心豊かに育てるには文化芸術が必要ですが、もっと親子で行ける、鑑賞する体験をできる場を作ったり、支援したりしてほしいです。	基本目標 1	次世代育成の視点から、子どもを含む広い世代が文化芸術に触れる機会を増やすことが重要と考えております。親子で一緒に観賞や体験ができる機会の充実を図ってまいります。	②
16	藤沢市には美術館・博物館がないので、新しくなるギャラリーを少しでも大きくするか、新設することも考えてほしいです。	基本目標 4	生活・文化拠点再整備事業に関するご意見として、今後の参考とさせていただきます。	④
17	市民会館は晴れの日での結婚式や発表会などの場所として地域の人々のシビックプライドとなってきました。ここに関わった人の想いを継承していくことがとても大切な事ですし、会館には沢山の彫刻や文化財があります。文化を「残し、つなぎ、よみがえらす」三点が	基本目標 3	これまでつないできたものを、次世代へつなぐため、文化的資源の活用と発信を進めてまいります。今後の取組の参考にさせていただきます。	③

	次世代と学び共生する大事な事だと思えます。			
18	近藤邸は移設されるようですが、工事休館中も旧近藤邸が文化活動の場になると考えています。以前のように喫茶が出来たり展示やワークショップ、講演会、サロンコンサート等活用できないかと考えます。クラウドファンディングができれば活動が広がるでしょう。旧近藤邸こそシビックプライドのシンボルとなりえます。	基本目標 4	旧近藤邸の利活用については、生活文化拠点再整備事業において検討してまいります。	④
19	6年ほど藤沢駅周辺に住んできて、文化芸術に触れる機会はほとんどなかった印象で、文化芸術が盛んな街には見えない。文化芸術活動を続けている人が、そうでない人たちを巻き込むような動きはなく、そこが課題ではないかと感じる。サンパール広場やアートスクエア、テラスモールなど、市民が日常的に通る、集う場所で文化芸術に触れる機会を提供するほうが効果が高いと思えます。「日常的に」「アートに触れる」ことが大事です。	基本目標 1	文化芸術に触れる機会を拡充していく必要性については、第2章2(2)で課題としてとらえております。今後の取組の参考とさせていただきます。	②

20	アートによって街の魅力を再発見したり、各地をつなげるようなプロジェクトを地元発信で進めることができるような仕組みや市からのサポートが必要ではないかと思います。	基本目標 2	市民や民間主体の事業などについて、後援による広報活動の支援などをすすめてまいりたいと考えております。	②
21	古い施設を再整備することは大事ですが、その箱や空間をどう使っていくかのほうがはるかに大事です。そういうソフト面にしっかり市が補助を出したり地元のアーティストを起用したりということが、藤沢の文化醸成に大切な事だと思います。	基本目標 4	生活・文化拠点再整備事業に関するご意見として、今後の参考とさせていただきます。	④
22	文化芸術が市民のためになぜ必要か、の視点記述が足りないと思います。文化芸術はそもそも人間が生き成長するために、また平和な社会構築のために欠かせないものと考えます。誰もが取り残されることなく豊かで優れた文化芸術に日常的に触れられる環境づくりを保障する「振興」計画として力強く定義して欲しいです。	計画全般	文化芸術基本法の前文に文化芸術についての重要性がうたわれており、本計画を策定するうえで、基本的な理念であると考えております。	③

23	市民会館等の再整備においても、市民のための文化芸術振興計画として何よりも優先されるようはっきりと位置付けて欲しいと思います。	計画全般	再整備事業においても、本計画における基本理念などを踏まえながらすすめてまいります。	③
24	＜複合について＞移動をしないで、図書館に行き、ギャラリーもみて、舞台も観れるなら、時間を有効に使え便利。複合する施設が今より狭くならず、落ち付いた施設で、新庁舎のような保育施設などがあるとよい。また今の緑を大切に、ベンチなどを置きみんながくつろげる場所を施設内外に作ってほしい。貯水のための施設は地下に埋めてほしい。ギャラリーの天井は高く。料金はできるだけ安く。	基本目標 4	生活・文化拠点再整備事業に関するご意見として、今後の参考とさせていただきます。	④
25	＜建物全体について＞大人も子どもも使いやすい施設、手洗いなどに考慮してほしい。広場などのスペースは非常時にも使えるので広さを確保し、スロープなどの設置もしてほしい。ハンディのある人でも働く場を増やしてほしい。	基本目標 4	生活・文化拠点再整備事業に関するご意見として、今後の参考とさせていただきます。	④

26	＜トイレについて＞ 現在の新庁舎のトイレ 子供用の便器と手洗 いがほしい。	基本目標 4	生活・文化拠点再整備事業に 関するご意見として、今後の 参考とさせていただきます。	④
27	＜ホールについて＞ 途中での出入りがしや すい座席の並び。エス カレーターやエレベ ーターが使いやすい場 所にあり、母子席（室） が必要。今のようなレ セプションホールが必 要。リハーサル室は多 目的に使えるように。	基本目標 4	生活・文化拠点再整備事業に 関するご意見として、今後の 参考とさせていただきます。	④
28	＜その他＞ 民間企業にまるなげし ないこと。老人やハン デキャップのある人も 使いやすいこと。	基本目標 4	生活・文化拠点再整備事業に 関するご意見として、今後の 参考とさせていただきます。	④

以 上